



薬粧連合×SDGs×自由研究

わたしたちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



“ゼロ・ウェイスト” についての体験学習

本紙はA4サイズ用に作成しております

はじめに

★この自由研究では以下について学べます

- “ゼロ・ウェイスト”とはなにかを知る
- “ゼロ・ウェイスト”をきっかけにSDGsを身近なものに感じる
- ゴミの分別について理解し自ら取り組み、自分ゴト化する
- 課題に対する解決策を考える力をつける

★以下のSTEPを通じて順に取り組めます

1週間程度で完成するレベルの内容です

STEP1:この研究を選んだ理由

STEP2: “ゼロ・ウェイスト”とはなにか

STEP3: “ゼロ・ウェイスト”を目指す

STEP4:SDGsと“ゼロ・ウェイスト”について

STEP5:自分にできること(対策を考える)

STEP6:研究の感想・まとめ

★対象:小学校低学年～中学生

★保護者の皆様へ

ゼロ・ウェイストの体験とし、STEP3でゴミの分別を行います。自治体のゴミの分別を今一度確認し、分別方法の再発見や大変さについての感想をお子様と話して頂き、保護者の皆様にとってもSDGsを自分ゴト化するきっかけとなれば幸いです。

※巻末にヒント集を掲載しています。お子様の自由研究の助けとしてご活用ください。

STEP1:この研究をえらんだ理由

例:「ゼロ・ウェイスト」という言葉を聞き興味をもったから

例:ゴミの分別に関心があるから

例:ネットで見たから、ニュースでみたから

例:家族や友人、先生から聞いて興味をもったから

STEP2 “ゼロ・ウェイスト”とはなにか

ヒント: ゼロ・ウェイストという言葉調べてみる。ゼロ・ウェイストに取り組んでいる街と、その取り組み内容を調べてみる。(巻末のヒントも参考にしてください。)

ヒント: この後、ゼロ・ウェイストを目指しゴミの分別を体験します。ゴミの分別がなぜゼロ・ウェイストにつながるか(ゴミを減らすことにつながるか)調べてみましょう。(巻末のヒントも参考にしてください。)

STEP3 “ゼロ・ウェイスト”を目指す

- ・取り組み期間の目標を立てゼロ・ウェイストに取り組んでみる。
(例:初級:3日間 中級:1週間 上級:1ヶ月)
- ・取り組みやすい内容として家庭内のゴミの分別を徹底する。少しでも資源ゴミとして回収できればゼロ・ウェイストに近づく。

●準備: あなたの住む街のゴミの分別方法を調べる

- ・何種類の分別をすればよいか考え、分別したゴミを種類分けできるように分別リスト表を作成する。ゴミ分別アプリなどを活用して調べてみる。(例:ごみ分別アプリ「さんあ〜る」)

- ・何が分別しづらいか(ラベルを剥がすのは面倒など)、資源回収が難しいか予想する。(仮説を立てる。)

STEP3 “ゼロ・ウェイスト”を目指す

- ・取り組み期間の目標を立てゼロ・ウェイストに取り組んでみる。
(例:初級:3日間 中級:1週間 上級:1ヶ月)
- ・取り組みやすい内容として家庭内のゴミの分別を^{てってい}徹底する。少しでも資源ゴミとして回収できればゼロ・ウェイストに近づく。

●体験:準備した内容に基づきゴミの分別を^{てってい}徹底する

- ・リサイクルや資源回収できそうなのに、住んでいるまちの分別ルールでは燃えるゴミになってしまうもの」や「捨てるをえなかった食材」など、ゼロ・ウェイストが難しかったものを書き出したり、写真を撮影して記録しておく。

STEP4:SDGsと“ゼロ・ウェイスト”について

- ・ゼロ・ウェイストと特に関係するSDGsは何番でしょうか？
- ・どのようにそのゴールに関係しますか？
- ・ゼロ・ウェイストを実行すればそのゴールにどう^{こうけん}貢献するのでしょうか？



↓ゴールNo

↓ゴールNo

STEP5: 自分にできること(対策を考える)

・STEP3で立てた予想と、^{じっさい}実際にやってみた結果を比べてみる。
(仮説について検証してみる。)

・分別が難しかったり、資源回収ができないものを減らす対策を考えてみる。

STEP6 研究の感想・まとめ

・ゼロ・ウェイストの第一歩としてごみの分別を徹底^{てっぺい}した感想を書き出そう。そして、ゼロ・ウェイストをやってみた感想を家族と話してみよう。

～ヒント～

■ ゼロ・ウェイストとは (STEP2)

ゴミをゼロにすることを目標に、ゴミをそもそも出さないようにしようとする取り組み

<例>

ゴミの出ない生活スタイルを取る事、ものの流通のさせ方を変えること(カーシェアリングや各種レンタルサービスなど)、資源を浪費しない製品の生産方法等

■ ゼロ・ウェイスト宣言都市 (STEP2)

<例>徳島県上勝町

2003年、「町内から出る焼却・埋め立てゴミをゼロにする」目標^{かか}を掲げ、自治体として日本初のゴミゼロ(ゼロ・ウェイスト)宣言を行いました。上勝町ではゴミ収集を行わず、住民各自が『ごみステーション』に持ち寄って45種類以上に分別します。自分でゴミを運べない人には、無料で運搬支援も行ってるとのこと。その結果、2020年にはリサイクル率80%を超えており、ゼロウェイスト・タウンとして国内外から注目を集めています。



2023.1.28 SDGs研究会にて視察

大人の皆様へ ～本紙作成の想い～

私たち薬粧連合は「世界の人々の健やかでいきいきとした暮らしへの貢献」を実現するため、2018年10月に医薬化粧品の産業別組織として発足しました。

薬粧連合のSDGs研究会では2023年1月28日に、自治体として日本初のゼロ・ウェイスト宣言をした徳島県上勝町を視察しました。上勝町ではゴミ収集を行わず、住民各自が『ごみステーション』に持ち寄って45種類以上に分別することのことで、話を聞いたときは非常に大変な作業だと感じました。しかし、動機付けは必要との説明はありましたが、住民の方々は前向きにゴミの分別を行っていました。

SDGsの理念を体現するには、個々人が社会課題を前向きに自分ゴト化して、その課題に取り組むことが重要だと考えております。この自由研究を通じて、SDGsについて親子で話すきっかけとなり、またゴミの分別という身近なことから社会課題に取り組めるということを実感し、SDGsを自分ゴト化するきっかけとなれば幸いです。

